

令和7年度 瑞穂学園

(本成寺中学校・西廻田小学校・月岡小学校)

【グランドデザイン】

瑞穂学園が9年間を通して求める児童・生徒像

「自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども」

知 育 ＝ 自ら学び、他と関わり合って追求する子ども

徳 育 ＝ 自他を認め、思いやり、助け合い、高め合う子ども

体 育 ＝ 好ましい生活リズムを自らつくろうとする子ども

令和7年度 三条市学校教育プラン

学校教育の目標

子ども自らが未来を拓くための生きる力
(「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」)を育む

目指す子ども像

「ふるさと三条」を愛し、誇りに思う子ども

【知育】 重点事項:「主体的・対話的で深い学びを実現する授業研修(第3年次)」

- ◆ 一人一実践授業公開を軸とした授業研修会(全職員)
 - ・三条市授業スタンダードに基づいた一人一実践を行い、全職員が公開授業を行います。
 - ・公開授業校による公開授業研修を行い、瑞穂学園全職員で授業に関する協議を行い授業力向上に努めます。
- ◆ タブレットPCを活用した個別最適な学びスタイルの確立
 - ・AIドリル「ミライシード」の学園カリキュラム化を図り、学園共通で「ドリパタイム」を実施し、基礎基本及び家庭学習習慣の定着を図ります。さらに、個に対応した学びをサポートしていきます。
- ◆ 対話を通して学びを深める授業づくり
 - ・「ミライシード」の共有アプリを活用し、子どもたちの対話的学びを視覚化し、共有しながら深い学びにつなげていきます。

【徳育】 重点事項:「学級集団を主とした人間関係づくりの力の育成」

- ◆ WEBQ U等を生かした学級集団づくり
 - ・WEBQ Uと生活アンケートを活用し、一人一人を大切にした学級経営をより一層充実させます。
- ◆ 児童会や生徒会等を生かした小小・小中連携、交流活動の取組
 - ・今までの小中での取組を生かし、いじめ見逃しゼロ宣言を掲げ、よりよい人間関係を築けるように小小・小中連携、交流活動を行っていきます。
- ◆ 一人一人を大切にしたい心の居場所づくり
 - ・「学園の人権教育、同和教育の年間指導計画」を基に実践を行います。また、人権教育、同和教育の職員研修として、現地研修を行い、差別の現実から学び、児童・生徒と共に考えるよう努めます。
 - ・児童会や生徒会等で連携を取りながら、自分たちの生活を見直す場面を設定し、問題に気づき、その解決のために対話し協働しながら取り組んでいきます。

【体育】 重点事項:「好ましい生活リズムを自らつくろうとする児童・生徒の育成」

- ◆ 睡眠調査(就寝1時間前ブルーライトカット)…小学校
 - ・年2回の睡眠調査を通して、自然な目覚めにつながる「ベスト睡眠時間」を確保し、よりよい睡眠を実践していくようにします。
- ◆ 生活リズム調査(メディアコントロールなど)…中学校
 - ・メディアコントロールなどを重点項目とした生活リズム調査を軸に、自分の生活をコーディネートする力を付けていくようにします。
- ◆ 瑞穂学園学校保健委員会の取組
 - ・よりよい睡眠を目指し、瑞穂学園学校保健委員会で児童生徒参加型の講演会を実施します。

【職員研修会】3校の職員研修会を行い、「確かな学力の育成」「豊かな心と社会性の育成」「健やかな心身の育成」に取り組めます。

- ◆ 教科研修の取組 学園教科研修部会において、乗り入れ授業と一人一実践授業を通して、職員の指導力向上に努めます。
- ◆ 領域部会の取組 知育・徳育・体育の3部会で、求める児童・生徒像について共通評価項目による計画、実践、評価、改善を行います。

	基礎充実期				活用期			伸長期	
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
知 育	●学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟				●身に付けた力を活用し、自ら課題を見付け、解決する力の育成			●将来を見据え、身に付けた力をさらに伸ばし、学び続ける態度の育成	
徳 育	●自他の認め合いと規範意識の育成				●自ら考え判断し、行動する力の育成			●自分の良さを更に伸ばし、他や社会と積極的に関わろうとする態度の育成	
体 育	●基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上				●自分の課題を把握し、望ましい生活習慣や運動習慣への改善			●自分の課題を自覚し、より良い生活習慣や運動習慣の確立	

【キャリア教育】9年間を通じて、縦(3つの期)のつながりと、横(知育・徳育・体育)のつながりを大切に取り組めます。

	基礎充実期(小1～小4)で育む資質・能力等		活用期(小5～中1)で育む資質・能力等		伸長期(中2・中3)で育む資質・能力等	
社会的自立	協調性・自己肯定感・人の温かさを実感		他者理解・自分らしさの認識・協働の大切さを体感		社会参画する態度・柔軟性・自己有用感	
職業的自立	課題を見付ける力・役割を理解する力・目標を持つとうとする能力		計画実行力・自己決定する力・働くことの意義を理解		新たな価値の創造・将来設計力・問題解決力	
活動の方向性	学園・学校運営協議会		「知育」領域での取組 地域の人材や教育資源を活用する教育活動		「徳育」領域での取組 児童・生徒間の絆を深める交流活動	
					「体育」領域での取組 自己調整力を育成する教育活動	
					三条キャリア教育バンク	

「9年間を通して求める児童・生徒像」にどれだけ近付けたか、子どもたちの姿を小中一貫教育推進たより「土筆の穂」等で紹介します。

小中一貫教育を推進する主な組織

- ☆ 瑞穂学園運営協議会(コミュニティ・スクール)【年間3回(6月、10月、2月)】
- ☆ 瑞穂学園校長連絡会議【月1回年間12回】
- ☆ 瑞穂学園小中一貫教育推進会議(学園運営委員会)【年間3回(4月、10月、2月)】
- 研究主任部会、生徒指導主事・生活指導主任部会、特別支援コーディネーター(Co)部会、養護教諭部会は月1回